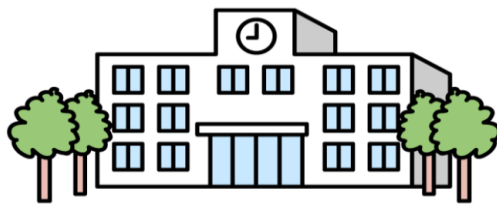


家庭学習リーフレット

家族と学ぶ勉強方法

—自分の「生き方」につながる確かな学力を身につけよう—



【生徒の皆さんへ】

授業を理解し、充実した学校生活を送るために、家庭で学習する習慣を身につけることがとても大切です。

家庭での学習内容は、宿題・テスト勉強・受験勉強等があります。しかし、どのように勉強すればいいのかわからないという人もいるでしょう。

そこで、家庭学習を進めていく上でのヒントとして、この「家庭学習リーフレット」を作成しました。このリーフレットを読み、何をすればよいかをしっかりと理解して、学習習慣を身につけましょう。

【ご家族の皆さんへ】

家庭での学習習慣をしっかりと身に付けるきっかけとしてこのリーフレットをご利用下さい。学習環境（お子様の机の上、中、近辺）をあらためてご確認ください。お子様と中学校の学習について話し合ってみてください。

2025年度
葛城市立白鳳中学校

もくじ

p.1	国語科・社会科
p.2	数学科・理科
p.3	音楽科・美術科
p.4	保健体育科・技術家庭科
p.5	英語科

※学習の内容や学習計画、評価の基準などを掲載した冊子「シラバス」も配信します。
ご家族で2冊ともお読み頂き、お子様の家庭での学習の仕方を一緒に考える
きっかけにしていきたいと思っております。ぜひ、ご活用ください。

国語科

1. 家庭での予習・復習の仕方（ポイントやコツなど）

これだけは・・・

予習

わかるところと、わからないところを確認することで、授業内容の理解が深まります。

そのための予習として、

- ① 教材文を一読する。
- ② 辞書を使って、漢字や語句の下調べや練習をする。

復習

- ① 学習内容の把握のため、ワークを利用する。
- ② 漢字や語句はノートを作り、反復練習をする。

その他

- ① 読解力を向上させるため、新聞を読むことや、さまざまな本に親しむこと。
- ② 古典の暗唱など学年に応じて設定された課題をする。

2. 定期テストについて（意味、意義、学習方法）

- ・授業ノートを使い、学習内容の振り返りをする。
- ・ワークや問題集を使って、問題練習をする。
- ・漢字や語句は反復練習をする。



社会科

『復習を中心に』『その日の授業の内容をその日のうちに整理する』

- ①教科書の、授業で習ったページを読む。
- ②ノートを読み返し、授業の内容を思い出す。さらに、重要語句や授業のポイントを、自分の言葉でまとめてみよう。また、疑問に思ったことを自分で調べてみよう。
- ③ワークの、習った範囲の問題を解く。最初は何も見ないで解き、分からなかったところを教科書やノートで調べてみるとさらに良い。

『自然に勉強する環境をつくろう』

日本地図・世界地図や歴史の年表などを壁に貼ってみよう。

※常にそれが目に入ることで、興味・関心が高まります。

『定期テスト前の学習』『日頃の授業・復習を大切にしていれば、基礎的な力は身についている』

- ①教科書やノートを読む。重要語句を何度も書いて覚える。
教科書は、本文だけでなく、地図やグラフ、図表などの資料も意識して見よう。
- ②ワークをもう一度解く。
以前、分からなかったり間違えた問題を中心に、繰り返し解こう。
- ③覚えた語句を説明できるようになろう。
言葉自体を知っていても、意味を理解していなければテストで答えられないこともあります。
- ④友達同士で、問題の出し合いなどをすれば、楽しく内容が理解できます。



日本最古の官道（大道）
開通1400年

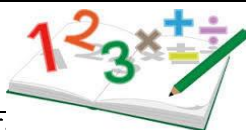
社会科担当の先生からメッセージ

☆われわれが生活する情報化社会では、新聞やテレビ、インターネットなどさまざまな情報があふれています。その中で、必要な情報を収集・選択し、判断(活用)する力が必要です。

☆社会科とは、世の中のしくみを理解する教科です。世の中の出来事には、全て原因と結果があります。それは、地理・歴史・公民の全ての分野に共通します。

☆分からないこと、疑問に思ったことをがいたら、そのままにせず、すぐに調べる習慣をつけましょう。

数学科



1. 家庭での予習・復習の仕方（ポイントやコツなど）

○その日に学習した内容の復習を大切にしよう。

☆基本問題でわからない問題は、教科書や授業のノートを見ながら解いて...

○必ず答え合わせをし、わからなかった問題は解答・解説を見て「考え方」を理解する。

○自分の力で解けるまで、何回もやり直しをする。

○解けなかった問題はやりっ放しにしないで必ずやり直しをする。



問題集は1冊を繰り返し何度も解く。

最初に解いたときに間違えた問題や解けなかった問題は×をつけておいて、再度取り組む。

解けるようになったら×を○でかこみ、解けなかったら××として、3回目、4回目...

と何度もチャレンジする。何度も繰り返して解いていくことで○の数を増やしていく。

2. 定期テストについて

○授業でやった問題は答えを覚えるくらいまで復習をする。

○解き方が理解できたら、ワーク等の問題集で確認をする。

○授業ノートを見て学習することよりも、問題を解くことに重点をおく。

○少しの時間でもいいので、毎日学習する。（最低30分）

○教科書の「例」や「例題」は一人で解けるようになるまで繰り返す。見ていだけでなく、必ず実際に書いてみる。



理科

日頃から理科の勉強はしっかり楽しんでしよう。

授業の中だけが理科の勉強ではありません。

まわりをしっかりと観察することから始めよう。

1. 家庭での予習・復習の仕方（ポイントやコツなど）

・普段の生活から「何だろう？」と感ずることが大切です。
わからないことは、先生に何でも聞いてみよう。

・プリントやノートを自分の方法でしっかりとまとめよう。

・新聞には天気や天体など、理科に関係する内容がたくさん
のっています。日頃から関心をもって読もう。

・科学館などに時間をつくって行ってみましょう。新しい発見
があり、理科の勉強をする意欲になりますよ。



2. 定期テスト前の学習

疑問を残さずにテストを受験することが理想です。

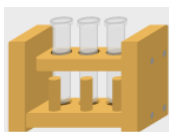
・教科書をよく読み、学習の流れを再確認しましょう。

・ノートやプリントをしっかりと見直ししましょう。

・ワークの問題を繰り返し解き、間違えたところを理解しましょう。

・実験・観察にしっかりと取り組み、体で覚えよう（考え方をしっかり身につけよう）。

何度も書いて覚えよう。



音楽科

授業を受けるにあたって

週に一時間の音楽の授業は、大変貴重です。一時間一時間を大切に、積極的に授業を受けましょう。そのためには、教科書・ワーク・リコーダーなどの持ち物を必ず準備するようにしてください。歌やリコーダーなどの授業は、先生や友達のアドバイスを受けながら、よりよい表現を目指しましょう。鑑賞の授業では、日本や世界のすばらしい音楽を聴くことができます。耳と心を傾けて聴きましょう。

予習・復習の仕方

- ・音楽は、日常生活の中にたくさんあふれています。普段から音楽に関連するいろいろなことに関心を持ちましょう。また、自然音や環境音にも耳を傾けましょう。
- ・歌やリコーダーは、週一回の練習だけではなかなか身につくことがありません。時間を見つけて練習を繰り返していくことが上達につながります。

定期テストの学習の仕方

- ・歌詞、リコーダーの指使い、作詞・作曲者の名前、音楽記号の基礎知識など、授業中に学習した言葉は、必ず覚えましょう。
- ・ワークや配布されたプリントの書き込みは、テスト前に見直しても分かるように、日頃から丁寧に記入しましょう。

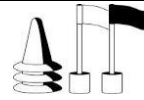


美術科

- ・美術やアートには、決まった答えはありません。こんな風に描かなければいけない。とかではなく、とにかく、自分の好きな事・得意な事・大切にしていることを見つめなおしてみよう！なにより、自分の個性を大切（大事）にして最後まで取り組もう。
- ・時間に余裕があれば美術館へぜひ、足を運んでみてください。美術館では、緊張せず自分の好きな絵をさがしてみよう！自分のペースで美術館を回しましょう！ ゆっくり時間をかけて。興味をもてる芸術家に出会えたら、その人のことについて少し調べて知識を得るようにし、その人の作品に接すれば、より深く絵を鑑賞することができます。
- ・できるだけ自分の身の回りを見つめ、世間の評判で「きれいなもの」・「美しいもの」をさがしたり、見るようにしよう！TV・ドラマ・雑誌・映画・本・音楽・マンガ、etc、さまざまなメディアの中にすばらしいものはたくさん存在します。 それを感じる事が、自分の感受性を磨くのに大切なことです。（でも気をつけなければならないのは、悪質なものもあるので、それを見極められるようになるには、時間も労力もかかりますが、これがまた、大事。）
- ・授業で取り組む課題に関しては、すぐにアイデアを決めてしまわず、いくつもアイデアを出してその中から良いものを選ぶ習慣をつけよう！（テストの時の実技テストの発想の練習におおいに役立ちます。）
- ・美術の授業では、先生のアドバイスをよく聞き、まずは自分でよく考えてみて、それでもよくわからなければ、何度も質問しよう！



保健体育科



(体育実技編)

- ・まず、歩くことから始めよう。(自動車、自転車を使わず自分の力で)
- ・お風呂上がりや学習の合間などに、軽くからだを動かしたり、ストレッチなどをしよう。
- ・時間をみつめて、自分の体力に合わせてからだを動かそう。
(授業で行っている種目なども)
- ・オリンピック、W杯、世界選手権、日本のトップリーグなど世界や日本のトップ選手を見よう。本、雑誌、新聞、TV、映画で本人を見よう。また、チャンスがあれば、実物を見に行こう!
- ・好きなスポーツの歴史、用具、好きなチームや選手のことを調べよう。

(保健編)

- ・「早寝、早起き、朝ごはん」規則正しい生活を送り、自分のからだの健康について考えよう。
- ・各月の強調月間など保健や健康に関するニュースについて考えよう。

予習

授業前に提示される課題について調べる。

復習

授業で説明し実施した内容を体育実技で確認する。

定期テストの勉強の仕方

授業で習った内容を教科書、ノートを中心に確認する。
スポーツや健康に関するニュースをチェックする。



技術・家庭科

1. 技術

予習・復習の仕方

技術は日々進歩しています。身のまわりのことに疑問を抱き、関心を持つことが様々な技術を知る機会になります。

授業での理解と記憶のために

- ①身の回りの技術に興味関心を持っているとより深い学びにつながります。
- ②教科書・配布プリントをしっかりと見直しましょう。
(授業のメモをノートに残すと見直す役に立ちます。)
- ③わからないことや、興味のある技術については自身で調べたりしてしまし



定期テストの学習の仕方

配布プリント、授業で行った教科書の範囲をしっかりと見直しましょう。

☆テスト勉強の時間配分に注意しましょう。(家庭科と同時にいきます)

※製図の問題がある場合は、持ち物に定規や鉛筆が入ります。注意してください。

2. 家庭

衣・食・住とはなんなのでしょうか?



- ・生活の中で自分達がしていることに『興味』を持ってください。毎日の生活の中に課題がたくさんあります。『なぜだろう』『どうしたらよいだろう』と思うことが大切です。
- ・まず「食」・・・自分の体に入るものです。どこで作られて、どのように調理され食卓に並ぶのかを知り、安全に気をつけて作ってみましょう。
- ・次に「衣」より・・・自分を表現するためのアイテムのひとつです。自分らしさを表現しながら、T・P・Oに合った服装を考えてみましょう
- ・最後に「住」・・・あなたの生活の場はどんなふうですか? やすらぎやくつろぎのある生活空間とはどんなものかを考えてみましょう。テレビや雑誌などを見たり、友達の部屋を参考にするのもひとつの方法です。
- ・授業中にする実習は基礎の基礎です。自立にむけて必要なことばかり、積極的に取り組みましょう。

英語科

【生徒の皆さんへ】

英語には、「聞いて理解する」、「読んで理解する」、「話して表現する（発表・やり取り）」、「書いて表現する」の4つの技能があります。その4つの技能を身につけるためには、語彙力や文法力などの知識が必要ですが、知識として知るだけでなく、実際に英語を使えることが大切です。言語習得に失敗はつきものです。失敗を恐れずに、毎日積極的に英語を使う練習をしましょう！！

1. 家庭での予習・復習の仕方（ポイントやコツなど）

予 習

- ①調べる 英和辞書や教科書の巻末などを使って、新出単語や分からない単語の意味を調べる。
- ②書く 本文、新出単語とその意味をノートに書く。
- ③考える 本文の意味を考え、ノートに書く。

復 習

- ①音読 単語、基本文、本文を何回も音読練習し、すらすら読めるように、覚えるくらい練習する。
- ②単語のスペルを覚える。スペルを見ながら発音したり、何度も書いたりして覚える。
- ③翻訳 ノートの左側単語本文を見て日本語に翻訳する。
ノートの右側単語の意味日本語訳を見て英語で言えるか、書けるかを確認する。
- ④問題演習 文法や熟語などの使い方をプリントやワークを使って確かめる。



2. 定期テストについて（意味、意義、学習方法）

①教科書を繰り返し音読する

新出単語、基本文、本文などが正しく読めるか確かめる。

②宿題プリントやワークの問題をもう一度解く

文法、熟語、重要な表現を使ってオリジナルの英文を作ったり、過去に間違えた問題を再度解く。

③テストの問題の指示をよく読む

どう答えを書くのか間違えないようにしてケアレスミス（不注意な間違い）を無くす。

④英文の書き方を確かめる

ピリオド、クエスチョンマーク、コンマそしてアポストロフィの書き忘れ、大文字と小文字の区別ができていない英文は間違いです。テストでは不正解になるので、正しい英文を書く練習をする。

◎学習環境を整えましょう！！

- ・机の上を整理整頓しましょう。
- ・机のまわりも整理整頓しましょう。
- ・机の中も整理整頓しましょう。

◎頭も心も整理整頓しよう！

- ・学習する心構えを作ろう。



◎計画を立てましょう！！

- ・テストまでの目標を作ろう。
- ・目標達成のための計画をたてよう。
- ・計画に沿って、実行しよう。

◎集中しよう！！

- ・最後までやりとおす強い気持ちを持とう。



※このリーフレットを家族の集まる場所に置いて、家族のみなさんにも読んでもらい、協力してもらいましょう！！

	年		組		番	名前	
--	---	--	---	--	---	----	--